

「共生」を考える授業

TUFS 共生
SCHOOL OF
INTERNATIONAL
AND AREA STUDIES

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



東京外国語大学 国際社会学部

2022

「共生」との向き合い方。

それぞれのやれるところから、熱くなれるところから、
はじめてみたらどうだろう。

あるいは、SDGs の 17 目標のうち、
キミには、どんな目標が気になるのだろうか。

どんなひとたちの、どんな地域の、
どんな時代の「共生」のかたちがモヤモヤするのだろう。

貧困に向き合う。

社会的な生に向き合う。

ジェンダー問題に向き合う。

不平等・平和・公正に向き合う。

ひとびとが住まう環境に向き合う。

経済や産業の発展に向き合う。

パートナーシップに向き合う。

SDGs に向き合う。

——まずは、こんなふうに、提案してみたい。

どこからはじめてみてもいい。

「共生」について、共に考え、行動し、
発信する力を試してほしい。

貧困に向き合う

途上国の貧困は勿論のこと、ひとびとの社会に微細に埋め込まれた格差の問題について学びます。



授業科目名	授業題目名	学期	曜限	担当教員	授業の内容
アメリカ地域研究 A	ブラジルの人と社会	春	水 1	舩方周一郎	ブラジルにおける格差是正・人種・ジェンダー問題、日本のブラジル人コミュニティ等を通じて、多文化社会のありかたを学ぶ。
国際法 2	国際人権法	秋	木 3	松隈潤	人権の国際的保障について講義する。世界人権宣言、人権諸条約（自由権規約、社会権規約、女性差別撤廃条約、子どもの権利条約、人種差別撤廃条約等）、国連における人権保障（国連人権理事会等）等について学ぶ。
国際機構論	The practical Aspects of the International Organizations	夏	集中	横井幸生	国連食糧農業機関 (FAO)、経済協力開発機構 (OECD) 等の国際機構における実務経験を有する講師より、SDGs の観点を含む国際機構の実践について学ぶ。
国際機構論	International Protection of Refugees	秋	月 2	小尾尚子	国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) における実務経験を有する講師より、難民の庇護の分野での国際機構の実践について学ぶ。
国際機構論	Theory and Practice of the United Nations	秋	金 2	富田麻理	在ジュネーブ国際機関日本政府代表部における実務経験を有する講師より、国連を中心とする国際機構の理論と実践について学ぶ。
国際協力論 2	International Cooperation	冬	集中	William Bariga	国際移住機関 (IOM) における実務経験を有する講師より、移民問題を中心とする国際協力の実践について学ぶ。
現代世界論概論 II A	社会調査法／社会関係論概論	春	木 1	上原こずえ	社会問題を捉えるための方法と倫理について学ぶ。
ラテンアメリカ地域基礎 1	ラテンアメリカ政治経済入門	秋	水 2	内山直子	植民地時代を経て、先住民・白人・アフリカ系・アジア系そして混血（メスティソ・ムラト等）から成る多種多様な複雑な社会構造を持つに至ったラテンアメリカ地域が抱える現代の政治経済的課題を、その歴史的経緯を踏まえて考察する。
開発経済学 3	開発マクロ経済学	春	木 1	内山直子	発展途上国の産業発展および農業発展の諸課題をミクロ経済学理論から分析し、グローバル世界のもとで貧困の解決および先進国と途上国の共生・発展がいかんして実現可能なかを考える。



社会的な生に向き合う

ひとびとが現に生きる社会という場を、多角的に学びます。

授業科目名	授業題目名	学期	曜限	担当教員	授業の内容
アメリカ地域研究 A	ブラジルの人と社会	春	水 1	舩方周一郎	ブラジルにおける格差是正・人種・ジェンダー問題、日本のブラジル人コミュニティ等を通じて、多文化社会のありかたを学ぶ。
政治理論演習	いのち論からの再出発 一生・愛・労働／仕事	春	木 4	大川正彦	「ひとびとの精神史」の古典を精読しながら、生・愛・労働／仕事をめぐる諸問題を探究する。
ジェンダー論 A / 1	性売買とジェンダー～戦後編～	春	火 2	金富子	戦後日本のジェンダーと性売買の関係性について、韓国含め世界各国の事例などを視野に入れ、実践的に学ぶ。
ジェンダー論 B / 2	性売買とジェンダー～歴史編～	秋	火 2	金富子	日本社会の性売買の成立と展開について、家父長制との関係から古代から第二次世界大戦までを批判的に考察する。
西南ヨーロッパ地域基礎 6	都市社会学ーパリを通して見るフランス社会	春	火 2	田邊佳美	パリの事例から、都市という社会空間に埋め込まれた階級・人種・国籍・ジェンダーなどの権力関係について社会的に考察し、社会制度・政策を批判的に検討する。
東南アジア地域研究 1	医療から見るベトナム近現代史	春	木 4	小田なら	植民地期以降のベトナムで多様な医療の在り方が社会変容によって変化してきた事例から、異なる価値体系の生成・競合・共存について考える。
レイシズム・スタディーズ 1	レイシズム・スタディーズ A	春	水 1	梁英聖	レイシズムとは単なる差別ではなく、生と死を分割する権力でもある。本講座はレイシズムがいかんして暴力やジェノサイドに結びつくかを学ぶことで、「共生」実現のために何が求められるのかを自分で考える能力を身につける。
レイシズム・スタディーズ 2	レイシズム・スタディーズ B	秋	水 1	梁英聖	レイシズムはアメリカやヨーロッパやアフリカだけでなく、日本社会も無関係ではない。レイシズムが日本社会でどのような人種差別となって現れるか、そのメカニズムを分析し、日本で「共生」を実現するための方途を考える。
アフリカ地域研究	アフリカ農村社会学	春	木 5	坂井真紀子	アフリカ農村の生業と地域経済をもとに、グローバル化による行き過ぎた資本主義を再考しオルタナティブな環境と経済のあり方を考える。
アフリカ地域研究	アフリカと開発	秋	木 5	坂井真紀子	「開発」とは何かという問いをアフリカの事例をもとに再考し、経済成長偏重脱却と真の共生社会のためにできることを考える。

ジェンダーの問題に向き合う

世界各地におけるジェンダーの問題を、過去と現在の双方の視点から学んでいきます。



授業科目名	授業題目名	学期	曜限	担当教員	授業の内容
北アメリカ地域研究	アメリカ女性史ージェンダーと政治参加	秋	月2	大鳥由香子	アメリカ合衆国における女性の政治参加の歴史を学ぶ。公民権運動や中絶問題などを取り上げる。
北アメリカ地域基礎	アメリカ研究入門	春	木3	大鳥由香子	アメリカ社会を語る上で重要な人種やエスニシティ、ジェンダーといった概念について学ぶ。
基礎演習	〈共に生きる〉を〈自分で考える〉練習	秋	木1	大川正彦	5つのテーマ、「性差」「人種」「親子」「難民」「動物の命」を扱う論考を読みながら〈自分で考える〉練習をする。
政治理論演習	いのち論からの再出発ー生・愛・労働／仕事	春	木4	大川正彦	「ひとびとの精神史」の古典を精読しながら、生・愛・労働／仕事をめぐる諸問題を探究する。
社会関係論入門／現代世界論入門II A	ジェンダー論入門	秋	木5	金富子	ジェンダー論の基礎理論、ジェンダーに深く関わる教育、メディア、家族や労働、親密圏や公共圏の暴力、男性学を取り上げる。
ジェンダー論A／1	性売買とジェンダーー戦後編ー	春	火2	金富子	戦後日本のジェンダーと性売買の関係性について、韓国を含め世界各国の事例などを視野に入れ、実践的に学ぶ。
ジェンダー論B／2	性売買とジェンダーー歴史編ー	秋	火2	金富子	日本社会の性売買の成立と展開について、家父長制との関係から古代から第二次世界大戦までを批判的に考察する。
国際機構論	The Practical Aspects of the International Organizations	夏		横井幸生	国連食糧農業機関 (FAO)、経済協力開発機構 (OECD) 等の国際機構における実務経験を有する講師より、SDGsの観点を含む国際機構の実践について学ぶ。
国際機構論	International Protection of Refugees	秋	月2	小尾尚子	国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) における実務経験を有する講師より、難民の庇護の分野における国際機構の実践について学ぶ。
国際機構論	Theory and Practice of the United Nations	秋	金2	富田麻理	在ジュネーブ国際機関日本政府代表部における実務経験を有する講師より、国連を中心とする国際機構の理論と実践について学ぶ。
国際協力論2	International Cooperation	冬		William Bariga	国際移住機関 (IOM) における実務経験を有する講師より、移民問題を中心とする国際協力の実践について学ぶ。
歴史社会研究概論 1	「周縁」から考えるグローバル・ヒストリー	春	月2	伊東剛史 大鳥由香子	グローバル・ヒストリーを周縁的存在の視点から考えてみる。
現代社会史論 B	男らしさと近現代	秋	金2	小野寺拓也	「男らしさ」「女らしさ」という、日常的に当たり前と思っている意識が歴史的にどのように形成されてきたのかを理解し、自らを客観的に見つめる態度を養う。
ヨーロッパ地域研究 (外国史)	『悦楽の園 (ホルトゥス・デリキアールム)』の世界	秋	金3	千葉敏之	中世ヨーロッパの知識社会における女性 (修道女) が果たした役割について学ぶ。
アフリカ地域研究 1	民族誌から学ぶアフリカの生活世界 1	春	木2	大石高典	自然環境と地域社会、国家と民族、家族と個人、難民とホスト社会などの事例を通して、サブサハラ・アフリカ地域をフィールドとした文化人類学がどのように共生を扱ってきたかを学ぶ。
アフリカ地域研究 2	民族誌から学ぶアフリカの生活世界 2	秋	木2	大石高典	サブサハラ・アフリカの農村に暮らす女性の一生に焦点を当てた民族誌を読みこみながら、発達、ジェンダー、環境、人類進化について学ぶ。
南アジア地域研究 A	インド歴史社会論(a)ー"教育"の社会史ー	春	火4	足立享祐	多言語社会・カーストなど、インド社会を規定する歴史的構造と教育を巡る現代的課題について考察する。
南アジア地域研究 B	インド歴史社会論(b)ー分離独立の歴史と記憶ー	秋	火4	足立享祐	南アジアにおける国家対立、宗派間暴力、難民問題について歴史や文学を題材として考察する。
西南ヨーロッパ地域基礎 6	都市社会学ーパリを通して見るフランス社会	春	火2	田邊佳美	パリの事例から、都市という社会空間に埋め込まれた階級・人種・国籍・ジェンダーなどの権力関係について社会的に考察し、社会制度・政策を批判的に検討する。
社会学 3	国際社会学ー国民国家の枠組みを超えて	春	火2	田邊佳美	国民国家の枠組みに必ずしも合致しない現象・プロセス・構造やその主体 (移民やマイノリティ) をめぐる考察から、国民国家の枠組みを相対化する視点を習得する。
東南アジア地域研究 3	東南アジア研究特論: 近現代ベトナムの性と政治	秋	木4	小田なら	近現代ベトナムの社会的規範と多様な性の在り方の社会的承認をめぐる近年の運動を切り口とし、他国の事例との比較から性と政治との関係を考察する。
世界認識論入門	レイシズム・スターディーズ入門	春	木2	梁英聖	他者との「共生」は差別との闘いなしにはありえない。本講座では「共生」が偽物にならないための、反レイシズムという規範を学ぶ。
地域基礎 2A	フィリピン研究入門 2	秋	水2	日下渉	現代フィリピンを事例に、移民、ジェンダー、セクシュアリティ、紛争、フェアトレード、ボランティアなどを考える。



不平等、平和、公正に向き合う

不平等がいかにしてうまれたのか、平和と公正を追求する手立てとはなにかを学びます。

授業科目名	授業題目名	学期	曜限	担当教員	授業の内容
歴史社会研究入門Ⅰ／地域社会研究入門Ⅱ A	世界史を開く	春	水4	リレー	さまざまな時代・地域に生きた人々について知り、彼らの世界認識や多文化社会のあり方を学ぶ。
ラテンアメリカ地域基礎1	ラテンアメリカ政治経済入門	秋	水2	内山直子	植民地時代を経て、先住民・白人・アフリカ系・アジア系そして混血（メスティソ・ムラト等）から成る多種多様で複雑な社会構造を持つに至ったラテンアメリカ地域が抱える現代の政治経済的課題を、その歴史的経緯を踏まえて考察する。
歴史社会研究概論1	「周縁」から考えるグローバル・ヒストリー	春	月2	伊東剛史 大島由香子	グローバル・ヒストリーを周縁的存在の視点から考えてみる。
中東地域基礎2	中東／西アジア・北アフリカ地域基礎（アラブ地域）	春	月1	青山弘之	中東を宗教、紛争、テロといったステレオタイプで捉えることの弊害を考える。
地域社会研究概論	ナショナリズムとイスラーム主義（国家・民族・宗教）	春	木2	青山弘之	ナショナリズムが人々の統合や分断をどのようにもたらすかを考察する。
中東地域研究2	アラブ地域政治事情	秋	木2	青山弘之	現代アラブ地域の政治にかかる代表的な事象を、地域研究と比較政治学的手法を駆使して解明し、同地域が直面する諸々の問題の所在を明らかにする。
現代社会史論B	男らしさと近現代	秋	金2	小野寺拓也	「男らしさ」「女らしさ」という、日常的に当たり前と思っている意識が歴史的にどのように形成されてきたのかを理解し、自らを客観的に見つめる態度を養う。
アフリカ地域研究2	民族誌から学ぶアフリカの生活世界2	秋	木2	大石高典	サブサハラ・アフリカの農村に暮らす女性の一生に焦点を当てた民族誌を読みこみながら、発達、ジェンダー、環境、人類進化について学ぶ。
南アジア地域研究B	インド歴史社会論(b)ー分離独立の歴史と記憶ー	秋	火4	足立享祐	南アジアにおける国家対立、宗派間暴力、難民問題について歴史や文学を題材として考察する。
西南ヨーロッパ地域基礎6	都市社会学ーパリを通して見るフランス社会	春	火2	田邊佳美	パリの事例から、都市という社会空間に埋め込まれた階級・人種・国籍・ジェンダーなどの権力関係について社会的に考察し、社会制度・政策を批判的に検討する。
社会学3	国際社会学ー国民国家の枠組みを超えて	春	水2	田邊佳美	国民国家の枠組みに必ずしも合致しない現象・プロセス・構造やその主体（移民やマイノリティ）をめぐる考察から、国民国家の枠組みを相対化する視点を習得する。
社会学4	移民と国家の社会学	秋	水2	田邊佳美	フランスとEUの事例から、①移民／難民というカテゴリーの歴史的構築過程の概観、②現代の国境政策の考察、そして③移民研究の批判的検討を通して、移民を問題化する国家や地域共同体、社会科学を再検討する。
東南アジア地域研究1	医療から見るベトナム近現代史	春	木4	小田なら	植民地期以降のベトナムで多様な医療の在り方が社会変容によって変化してきた事例から、異なる価値体系の生成・競合・共存について考える。
東南アジア地域研究3	東南アジア研究特論：近現代ベトナムの性と政治	秋	木4	小田なら	近現代ベトナムの社会的規範と多様な性の在り方の社会的承認をめぐる近年の運動を切り口とし、他国の事例との比較から性と政治との関係を考察する。
地域基礎1B	フィリピン研究入門1	春	水2	日下渉	フィリピンの経験を事例に、平等の原則に基づく民主主義と、不平等を生み続ける資本主義の関係を考える。
地域基礎2A	フィリピン研究入門2	秋	水2	日下渉	現代フィリピンを事例に、移民、ジェンダー、セクシュアリティ、紛争、フェアトレード、ボランティアなどを考える。
国際政治論2	グローバルガバナンス論と難民・移民問題	春	木3	中山裕美	国家や非国家主体が難民・移民問題等のグローバルな問題の解決に向けてどのような役割を果たすことができるのかを学ぶ。
国際協力論1	紛争後社会と和解	春	月2	片岡真輝	様々な背景や課題を抱える紛争後社会において、対立集団間でいかに和解を達成していくのかを学ぶ。
国際協力論2	記憶と社会	秋	月2	片岡真輝	戦争や紛争などの記憶が社会に及ぼす影響を学び、異なる立場や価値観、歴史認識を持つ他者とのつながりを考えていく。
地域基礎2A（オセアニア3）	オセアニア地域基礎（メラネシア）	秋	火2	片岡真輝	現代フィリピンを事例に、移民、ジェンダー、セクシュアリティ、紛争、フェアトレード、ボランティアなどを考える。
地域基礎1（アフリカ）	アフリカ地域研究入門1	春	火2	坂井真紀子	帝国主義に翻弄された植民地期アフリカの歴史を中心に学び、現代アフリカが抱える問題とそれを共に乗り越えるための視座を模索する。
世界認識論入門	レイシズム・スタンディーズ入門	春	木2	梁英聖	他者との「共生」は差別との闘いなしにはありえない。本講座では「共生」が偽物にならないための、反レイシズムという規範を学ぶ。
国際協力論1	パン・アフリカ主義とアフリカ統一	春	木4	AIDOO, Kojo Opoku	アフリカ思想の支柱であるパン・アフリカ主義について総合的に学ぶ。

授業科目名	授業題目名	学期	曜限	担当教員	授業の内容
レイシズム・スタディーズ 1	レイシズム・スタディーズ A	春	水 1	梁英聖	レイシズムとは単なる差別ではなく、生と死を分割する権力でもある。本講座はレイシズムがいかんにして暴力やジェノサイドに結びつくかを学ぶことで、「共生」実現のために何が求められるのかを自分で考える能力を身につける。
レイシズム・スタディーズ 2	レイシズム・スタディーズ B	秋	水 1	梁英聖	レイシズムはアメリカやヨーロッパやアフリカだけでなく、日本社会も無関係ではない。レイシズムが日本社会でどのような人種差別となって現れるか、そのメカニズムを分析し、日本で「共生」を実現するための方途を考える。
国際協力論 2 / B	アフリカの紛争と平和構築	冬		武内進一	ルワンダの協定校 PIASS の学生とオンラインでともに学び、議論しながら、アフリカの紛争と平和構築について考える。
オセアニア地域研究	「先住民（族）」から考える	春	金 3	山内由理子	近代国民国家形成の「陰」として創出された先住民の人々の立場から現代世界の仕組みに関して多角的に考える視覚を学ぶ。
北アメリカ地域研究	アメリカ女性史 ジェンダーと政治参加	秋	月 2	大鳥由香子	アメリカ合衆国における女性の政治参加の歴史を学ぶ。公民権運動や中絶問題などを取り上げる。
北アメリカ地域基礎	アメリカ研究入門	春	木 3	大鳥由香子	アメリカ社会を語る上で重要な人種やエスニシティ、ジェンダーといった概念について学ぶ。
社会関係論入門 / 現代世界論入門 II A	ジェンダー論入門	秋	木 5	金富子	ジェンダー論の基礎理論、ジェンダーに深く関わる教育、メディア、家族や労働、親密圏や公共圏の暴力、男性学を取り上げる。
国際法 2	国際人権法	秋	木 3	松隈潤	人権の国際的保障について講義する。世界人権宣言、人権諸条約（自由権規約、社会権規約、女性差別撤廃条約、子どもの権利条約、人種差別撤廃条約等）、国連における人権保障（国連人権理事会等）等について学ぶ。
国際機構論	The Practical Aspects of the International Organizations	夏		横井幸生	国連食糧農業機関（FAO）、経済協力開発機構（OECD）等の国際機構における実務経験を有する講師より、SDGs の観点を含む国際機構の実践について学ぶ。
国際機構論	International Protection of Refugees	秋	月 2	小尾尚子	国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）における実務経験を有する講師より、難民の庇護の分野における国際機構の実践について学ぶ。
国際機構論	Theory and Practice of the United Nations	秋	金 2	富田麻理	在ジュネーブ国際機関日本政府代表部における実務経験を有する講師より、国連を中心とする国際機構の理論と実践について学ぶ。
国際協力論 2	International Cooperation	冬		William Bariga	国際移住機関（IOM）における実務経験を有する講師より、移民問題を中心とする国際協力の実践について学ぶ。

ひとびとが住まう環境に向き合う

地域のひとびとの営みから、ひとびとと自然の豊かさを守るための取り組みについて考えます。



授業科目名	授業題目名	学期	曜限	担当教員	授業の内容
オセアニア地域研究	「先住民（族）」から考える	秋	金 3	山内由理子	「植民地化される」とはどういうことか」を軸として先住民の立場から「歴史」「環境」などの概念を批判的に検討することを学ぶ。
環境保全論	環境保全論 A	春	火 3	東城文柄	現代社会の諸問題と環境問題の関係性をより深く捉えるための知識について学ぶ。
環境保全論	環境保全論 B	秋	火 3	東城文柄	環境問題を考えるために必要な地域調査や定量的なデータ科学技法などについて学ぶ。
アフリカ地域研究 2	民族誌から学ぶアフリカの生活世界 2	秋	木 2	大石高典	サブサハラ・アフリカの農村に暮らす女性の一生に焦点を当てた民族誌を読みこみながら、発達、ジェンダー、環境、人類進化について学ぶ。
地域基礎 2A（オセアニア 3）	オセアニア地域基礎（メラネシア）	秋	火 2	片岡真輝	地域的・国際的にも注目を浴びつつあるオセアニア地域のうち、メラネシア地域の特徴や歴史、課題を学ぶ。
アフリカ地域研究	アフリカ農村社会学	春	木 5	坂井真紀子	アフリカ農村の生業と地域経済をもとに、グローバル化による行き過ぎた資本主義を再考しオルタナティブな環境と経済のあり方を考える。
アフリカ地域研究	アフリカと開発	秋	木 5	坂井真紀子	「開発」とは何かという問いをアフリカの事例をもとに再考し、経済成長偏重脱却と真の共生社会のためにできることを考える。

経済や産業の発展に向き合う

経済的な豊かさが持つ両義性について学びます。



授業科目名	授業題目名	学期	曜限	担当教員	授業の内容
開発経済学3	開発マクロ経済学	春	木1	内山直子	発展途上国の経済成長と所得格差問題をマクロ経済成長理論から分析し、グローバル世界のもとで貧困の解決および先進国と途上国の共生・発展がいかにして実現可能なかを考える。
開発経済学4	開発ミクロ経済学	秋	木1	内山直子	発展途上国の産業発展および農業発展の諸課題をミクロ経済学理論から分析し、グローバル世界のもとで貧困の解決および先進国と途上国の共生・発展がいかにして実現可能なかを考える。
東南アジア地域研究1	医療から見るベトナム近現代史	春	木4	小田なら	植民地期以降のベトナムで多様な医療の在り方が社会変容によって変化してきた事例から、異なる価値体系の生成・競合・共存について考える。



パートナーシップに向き合う

ひとひとが手を取り合うパートナーシップの在り方について、さまざまレベルから考えます。

授業科目名	授業題目名	学期	曜限	担当教員	授業の内容
国際政治論2	グローバルガバナンス論と難民・移民問題	春	木3	中山裕美	国家や非国家主体が難民・移民問題等のグローバルな問題の解決に向けてどのような役割を果たすことができるのかを学ぶ。
国際機構論	The Practical Aspects of the International Organizations	夏		横井幸生	国連食糧農業機関 (FAO)、経済協力開発機構 (OECD) 等の国際機構における実務経験を有する講師より、SDGs の観点を含む国際機構の実践について学ぶ。
国際機構論	International Protection of Refugees	秋	月2	小尾尚子	国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) における実務経験を有する講師より、難民の庇護の分野における国際機構の実践について学ぶ。
国際機構論	Theory and Practice of the United Nations	秋	金2	富田麻理	在ジュネーブ国際機関日本政府代表部における実務経験を有する講師より、国連を中心とする国際機構の理論と実践について学ぶ。
開発経済学3	開発マクロ経済学	春	木1	内山直子	発展途上国の経済成長と所得格差問題をマクロ経済成長理論から分析し、グローバル世界のもとで貧困の解決および先進国と途上国の共生・発展がいかにして実現可能なかを考える。
開発経済学4	開発ミクロ経済学	秋	木1	内山直子	発展途上国の産業発展および農業発展の諸課題をミクロ経済学理論から分析し、グローバル世界のもとで貧困の解決および先進国と途上国の共生・発展がいかにして実現可能なかを考える。
現代社会史論B	男らしさと近現代	秋	金2	小野寺拓也	「男らしさ」「女らしさ」という、日常的に当たり前と思っている意識が歴史的にどのように形成されてきたのかを理解し、自らを客観的に見つめる態度を養う。
地域基礎 2A	フィリピン研究入門2	秋	水2	日下渉	現代フィリピンを事例に、移民、ジェンダー、セクシュアリティ、紛争、フェアトレード、ボランティアなどを考える。
地域基礎 2A (オセアニア3)	オセアニア地域基礎 (メラネシア)	秋	火2	片岡真輝	地域的・国際的にも注目を浴びつつあるオセアニア地域のうち、メラネシア地域の特徴や歴史、課題を学ぶ。
国際協力論1	紛争後社会と和解	春	月2	片岡真輝	様々な背景や課題を抱える紛争後社会において、対立集団間でいかに和解を達成していくのかを学ぶ。
国際協力論1	パン・アフリカ主義とアフリカ統一	春	木4	AIDOO, Kojo Opoku	アフリカ思想の支柱であるパン・アフリカ主義について総合的に学ぶ。

SDGs に向き合う

SDGs をはじめとする、国際協力の在り方について、いまいちど、真剣に考えます。



授業科目名	授業題目名	学期	曜限	担当教員	授業の内容
国際政治概論 1/A	国際協力の史的展開	春	月4	武内進一	国際協力という現象がどのように出現し、今日まで変容してきたのかを学ぶ。

東京外国語大学 国際社会学部で学ぶ キミたちへ

キミじしんが「共生」への向き合いかたを深めてゆくときに、以下のことも、チラチラ気にしてみてもはどうだろうか。復習のときの手掛かりとしてもつかってほしい。

その壹—共生のかたち。

さまざまな地域、さまざまな時代を生きる人びとは、どんなふうにして、共生のかたちを探り、模索してきたのだろう。そして、いまも。もうひとつのかたち、もっとたくさんのかたちを知ってみよう。共生とは生きているひとたちのあいだだけの話であるのかも含めて。

その貳—共生の論点。

いったい、ひとびとは、どんなことを問題に、共生をまさぐってきたのか。どんな事柄で、不和、対立、争いを繰り返し、それでも共生をもとめてきたのか。みんな仲良くではない「共生」の実相をみつめてみよう。自然環境との「共生」のありようじたい、一筋縄ではゆかない論点のひとつだ。

その参—共生の振রি幅。

寛容と不寛容、包摂と排除、求心と遠心、分散と糾合、対立と統合、……。焦点をたった一つに絞り込むのではなく、大きな振রি幅のなかで、共生の道をたずねてみよう。ものごとを両義的にみてゆく習慣や、二つの焦点をもつ「楕円」(花田清輝)のイメージのなかで考えてみる習慣も役にたつかも知れない。

その肆—共生の足元。

授業で「共生」をどれほどしっかり学んでいたとしても、日々の生活で、共に生きてゆく足場で、足元で、キミじしんの「共生」が心もとないのはすこし寂しい。できれば、ひとりひとりが共に生きてゆく足元で、キミの知恵が活かされることが望ましいにちがいない。どんな工夫や知恵を蓄えられるか。

その伍—共生の手仕事。

共生をめぐる大きな話も、小さな話も———というか、小さな話はなおのこと———手仕事が重要になってくるものなのだろう。足元を見つめることも重要だけれど、足だけではなく、手間暇かけて、どんな「共生」をつくってゆくことができるのか。もっともっと、たくさんの「共生」のかたちを、キミじしんも試してゆこう。日々は実験。

「共生」を考える授業

2022 年度版

発行

2022 年 3 月 30 日発行

東京外国語大学 国際社会学部
